

ジェロントロジ

gerontology

横浜国立大学
安藤研究室

ジェロントロジー（老年学）とは、
高齢者の生活にかかわる問題を解明し、
より良い高齢社会をデザインする科学です。
安藤研究室では、社会老年学、高齢者心理学、
人と動物の関係学を中心に
研究をしています。



高齢者の社会的孤立

高橋知也
たかはし・ともや
横浜国立大学大学院・
環境情報学府・博士課程後期

●高齢者の社会的孤立の実態

近年、我が国における高齢者の社会的孤立や孤立死が社会問題として取り上げられており、総務省でもその防止を重要な課題として掲げています。その大きな理由として、高齢者の社会的孤立が孤独死や詐欺をはじめとする消費被害の大きな要因の一つとなっていることがあげられます。ニッセイ基礎研究所による推計

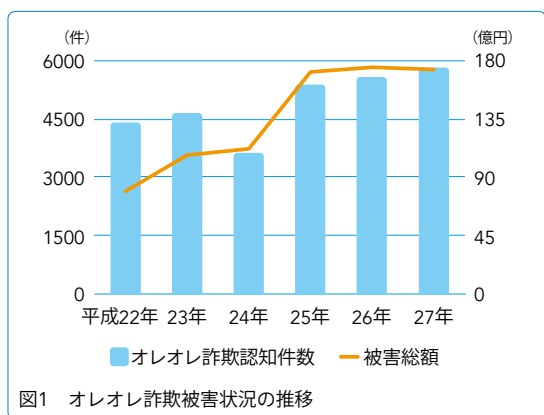


図1 オレオレ詐欺被害状況の推移

によれば、2010年における高齢者の孤立死は年間で1万5千件を数えるとみられていますが、これは同年に亡くなられた全高齢者のおよそ1・5%に当たります。孤立死は当人の尊厳の問題だけでなく、社会経済的にも多大な影響を及ぼします。また、高齢者を主な標的とするオレオレ詐欺などの振り込め詐欺による被害は、近年高止まりの状況が続いています。

●社会保障制度の転換と新たなサービスの普及

さらに、高齢者を対象とする社会保障制度も、ここにかけて一つの転換点を迎えています。2015年度以降の特別養護老人ホームへの入所基準の厳格化や、「要支援1・2」と認定された高齢者に対する保険給付を廃止し、段階的に新たな地域支援事業へと移行させるなどの措置は、今後の高齢者に対する社会保障の在り方の方向性を示したものと見えます。こうした動きをみて、行政やNPO法人、ボランティアをはじめとする多様な組織が様々な方法で対応に乗り出しています。

専門職と86の協賛事業および事業所で構成される「みまぐも」（東京都大田区）をはじめとする「高齢者見守りネットワーク」の全国的な広まりは、その最たる例であるといえるでしょう。

●「助けて」と言えない高齢者の存在

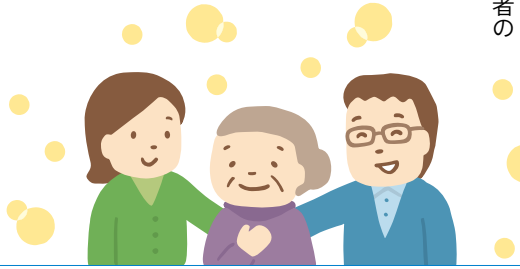
しかし、いかに手厚いセーフティネットが構築されても、その仕組みが有効的に活用されなければ、十分な効果を得ることは難しいのが現実です。例えば小川らによる調査³では、調査対象としたケアマネジャーの61・1%が援助サービス利用の提案を拒否された経験を持つことが明らかになるなど、周囲からの援助を頑なに拒否する高齢者も少なくないことが報告されています。援助を拒否する高齢者に対してなお援助を受け入れるように働きかけることは容易ではなく、実際



に適切な援助を受けなかったために生活上の課題がより深刻になってしまいうことへの懸念も指摘されています。

現状では、こうしたサービスを活用するか否かという最終的な判断は、原則利用者側に委ねられています。そのため高齢者の社会的孤立予防を目指す上では、サービスを利用する、もしくは利用しない高齢者の援助を受けることに

対する考え方（被援助志向性）についての研究が今後さらに重要となるでしょう。



- 1 ニッセイ基礎研究所「セルフ・ネグレクトと孤立死に関する実態把握と地域支援のあり方に関する調査研究報告書」
http://www.ni-research.co.jp/files/topics/39199_ext_18_0.pdf (2016.2.23)
- 2 警察庁「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害状況」
<https://www.npa.go.jp/safety/life/seianki31/higaijokuyou.html> (2016.2.16)
- 3 小川栄二・三浦たけは・中島裕彦 2000 「利用者の援助拒否・社会的孤立・潜在化問題から福祉労働のあり方を考える」『総合社会福祉研究』34: 28-40
- 4 鈴木浩子・山中克夫・藤田佳男・平野康之・飯島節子 2012 「介護サービスの導入を困難にする問題とその関係性の検討」『日本公衆衛生雑誌』59: 139-150

生活の学 中高生

高齢者の 消費者トラブル

横浜国立大学・
成長戦略研究センター・リサーチャー
西森利樹
にしもり・としき



私たちの生活では、買い物に欠かせません。買い物（消費者取引）にまつわる高齢者の被害が、依然として増え続けています。消費者と事業者との間には情報の量や質、交渉力に大きな違いがあります。商品やサービスについて事業者と同じレベルの知識を持つのは簡単ではありません。この違いが事業者の不当な勧誘を生む原因のひとつです。

●電話勧誘・インターネット利用の被害が増加

全国の消費生活センターに寄せられた70歳以上の相談は、2014年度には20万件近くありました。携帯電話の普及により電話勧誘による被害が若年世代で減少していますが、高齢者では増えています。また、近年では、インターネット利用についての相談も増えています。例えば、無料であると思いアダルトサイトに登録して料金を請求されたり、利用した覚えのないサイト利用料を請求されたりするケースです。

●認知症高齢者の被害が急増 —周囲の見守りが大切

認知症高齢者の被害は、2013年度に1万件を超え、過去最高となりました。認知症高齢者はトラブルにあっている認識が低く、特に一人暮らしの高齢者の場合は周囲に気づかれにくいことから、問題の発覚が遅れがちです。その状況に付け込むように、次々と品物を買わされて被害が拡大し、被害額も高額になる傾向があります。被害が発覚しても、判断能力が不十分であったことの証明が難しく、解決が難しいケースもあります。

●消費者トラブルに対する法的対応

消費者契約法では、契約の勧誘の際に事業者が不適切な行為があった場合、消費者は契約を取り消せます。例えば、事

業者が虚偽の事実を述べたり、確実に儲かると言って消費者を誤解させたりすることです。また、契約に消費者の権利を不当に侵害する内容があった場合には、消費者は契約の無効を主張できます。これは、事業者の損害賠償責任をすべて免除することや、法外なキャンセル料を要求するといったことです。

●消費者被害を防ぐために

地方自治体は消費生活センターを設置しており、消費者からの個別の相談、苦情に対応しています。もしもトラブルにあった場合や周りの高齢者が被害やトラブルにあっているときは、すぐに消費生活センターに連絡するとよいでしょう。認知症の場合は、あらかじめ医師の診断書を買っておくことや、成年後見制度を利用する方法もあります。また、各地の弁護士会では、高齢者の権利擁護のために無料相談窓口を設けているところがあります。勧誘する事業者の言うことを鵜呑みにせず、契約するかどうかが即断しないで少し時間を置いたり、周りの人に相談するようにして、「いったん待つ」ことが大切です。

- 1 国民生活センター「高齢者の消費者被害」
http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/kouseisa.html (2014.2.28)
- 2 国民生活センター「家族や周囲の「見守り」と「気づき」が大切—認知症等高齢者の消費者トラブルが過去最高に—」
http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20140911_1.pdf (2016.2.28)
- 3 日本弁護士連合会編『消費者法講義（第4版）』（日本評論社、2013年）

■『マイ・インターン』

ファッション会社を営む30代の若き女性社長、ジュールズ（アン・ハサウェイ）。急成長を遂げた会社で多忙を極める彼女は、仕事も家庭生活もままならない状態にありました。そんな彼女のもとに、会社の福祉事業「シニア・インターン」に採用された70歳のベン（ロバート・デニロ）



がやってきます。老後も社会と関わりたい、役に立ちたいと望んでいた。ベンは、当初こそ厄介者と思われることも。ですが彼は、当然ながら経験豊富

観察鋭く、品が良くおしゃべり。口数は多くないけれど、大切な言葉はしっかり伝える。目標を見据え、アクティブに行動を起こす一面も。ベンは、同僚たち、そしてジュールズの信頼を得て、いつしか頼りにされ、必要とされる人となります。そんな中、ジュールズが大きな問題に遭遇して……。

■墓友?!

映画では、夫婦関係に悩んだジュールズが、夫と別れたら将来お墓に一人で入ることになってしまう、と嘆くシーンがあります。それに対しベンは、自分たち夫婦の墓にはスペースがあるから一緒に入ればいい、と言っているのです。いわば、

第2回

『マイ・インターン』

横浜国立大学大学院
環境情報学部・博士課程後期

木村由香

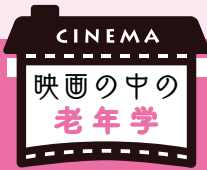
きむら・ゆか

協力：尾上正幸

((株)東京葬祭 取締役、

終活・エンディングノートアドバイザー／

終活映画ナビゲーター)



墓友の提案です！

このシーンでは、独りきりで亡くなることへのおそれが素直に表現されていません。孤独死が取り上げられる現代、わたしたちも世代を問わずそんなおそれをどこかに抱えているのではないのでしょうか。

■「ハンカチは貸すためにある、紳士のたしなみだ」

若い同僚に、ハンカチなんて無駄な物をなぜ持ち歩くのか、と聞かれたベン。彼は「ハンカチは貸すためにある、紳士のたしなみだ」と答えます。誰かが本当に困っているとき、苦しんでいるときをちゃんと見て取り、そっと手を差し出すのです。

これぞ理想の年のとり方、いえ、むしろ理想的すぎるかも知れません。ですがわたしたちは、年をとれば経験を積み、知恵や知識が身についていきます。それをどのようにうまくいかせばいいのか、

終活用語の基礎知識

【墓友】

共同墓など同じ墓に入る友人同士のこと。墓友達の略。家族や親族のいない単身者をはじめ、子どものいない夫婦など、さまざまな背景のもと生まれたスタイルと言える。

そんな生き方についての提案の一つが、この映画のベンではないでしょうか。また、働き盛りの世代は、ジュールズのようになり、どうしたって自分のことだけで手一杯になってしまいがちです。人生の先輩の、何を見て、尊敬し、学ぶべきなのか。そこにも一つの示唆を与えてくれる映画と言えます。

いろいろな生き方、考え方があふれる現代。ベンの生き方が、唯一のよい年のとり方ではないでしょう。とはいえ、自分にとってどんな年の重ね方が満たされるものなのか？ 少し迷った時には、この映画をきっかけに考えをめぐらせるのもいいかもしれませんね。

●1 『マイ・インターン』(2015年) Warner・マイカル配給



『初回仕様』マイ・インターン ブルーレイ&DVDセット
(2枚組/デジタルコピー付) 3,990円+税
デジタルセル&デジタルレンタル配信
ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント
©2015 Warner Bros Entertainment Inc.
All Rights Reserved.

認知症の予防や リハビリに音楽を♪

横浜国立大学大学院・環境情報学院
博士課程後期修了・博士(学術)

長谷川倫子 はせがわのりこ

●映画『パーソナル・ソング』に みる音楽の力

監督は90歳の高齢女性に問いかける。「あなたはどんな子供だった?」「全く思い出せないわ。」「何も思い出せないの?」「若い頃にどう過ごしていたのか全く思い出せないわ。」

そんな彼女に、監督は『聖者の行進』を聞かせてみる。すると女性の目がキラキラと輝き始めた。「これはルイ・アームストロングね。学生時代を思い出すわ。母に内緒でコンサートに行ったの!」ひとつの歌から紡ぎだされる思い出は次々にあふれ、彼女は記憶を呼び覚ました。

これは、アメリカのドキュメンタリー映画『パーソナル・ソング』の光景のひとつです。認知症患者にヘッドフォンで懐かしい音楽を聴かせたところ、昔の記憶が驚くほど呼び戻されました。無気



映画『パーソナル・ソング』より

「演奏する」ことにより、認知

力だった人たちの目がきらきらと輝いて話をし始めたり、体を揺らしたり、立ち上って踊り出す人もいました。私もこの映画を観て、音楽が認知症の脳に与える影響力を感じずにはいられませんでした。

●軽度認知障害に注目して

最近、認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)が注目されています。MCIとは、認知機能の一部に問題が生じてはいるが、日常生活にはあまり支障がない状態のことです。MCIを放置すると、認知機能が低下していき、5年間で約50%の人が認知症へ進行するといわれています。そのため、MCI



機能の改善や維持が期待できます。音楽の優れた点は、「ながら聴き」ができることです。音楽を聴きながら運動や家事、頭を使うこと、他人とのコミュニケーションをはかるなど、さまざまな療法を行えば、さらに脳への刺激が増すことでしょう。

●「新しい」音楽体験で認知症予防

本来、音楽は楽しむものです。それでいいわけですが、認知症の予防にはもうひとつ「新しい」ことを付け加えると良いといわれています。いつも同じ音楽を聴いたり、歌ったり、演奏するだけでなく、常に新しい曲を試してみると脳に新しい神経回路ができるようです。私が愛知県豊田市で企画している「とよたクラシック音楽同好会」では、20年前から音楽セミナーを開催しています。解説やお

話のあるコンサートで、音楽を聴く楽しみだけでなく、毎回「新しい」テーマで「学び」の要素を加え、高齢者の方々も生き生きと参加されています。認知症予防のためには、いつもと違うジャンルの曲も聴く、カラオケで新しい歌を披露する、楽器を習いに行く、コーラスに参加するなど、何か「新しい」ことに挑戦してみてもいいのではないでしょうか。



●1 Amazon のビデオ配信で購入した映画『パーソナル・ソング』(字幕版)解説より一部転載

●2 『パーソナル・ソング』(原題『Alive Inside』)
「音楽が記憶を呼び覚ます」
●3 「とよたクラシック音楽同好会」例会風景:
「ファゴットを知っている方いらっしゃいますか?」

『パーソナル・ソング』日本コロムビアより
DVD (¥3800本体) 発売中!
©ALIVE INSIDE LLC 2014

ジェントロジー No.02

2016年4月7日発行



編集・発行:

横浜国立大学 安藤研究室
「ジェントロジー」編集部

〒240-8501

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
教育人間科学部 第3研究棟 710号室

tel & fax: 045-339-3270

e-mail: andolab.ynu@outlook.jp

homepage: <http://www.ando-lab.ynu.ac.jp/>